

第2回 市民運営協議会（男女共同参画センター横浜南） 【開催日】 2018年7月18日（水）

【議題】 若年女性の就業支援事業について

【説明】 「若年女性の就業支援事業」を主なテーマとし、以下の次第で進行しました。

- 1 センターからの現況報告（設備更新等の改修工事に伴う休館について、2018年度公募型男女共同参画事業について）
- 2 委員の活動紹介（NPO 法人おもしろ科学たんけん工房 遠山委員による工作体験）
- 3 若年女性の就業支援事業の説明と意見交換

【意見交換の概要】

若年無業女性の就業支援事業（ガールズ講座・社会参加体験・めぐカフェ就労体験）の概要、現場の様子等を説明し、委員の方々の活動と照らしあわせながら、事業へのご意見をいただきました。

・地域活動にボランティアとして参加する「社会参加体験」事業では、フォーラム南太田による受入団体とのコーディネートがていねいだと感じた。試行錯誤しながらやってきたのだと思う。

・子ども向けに食と遊びの場をこのセンターで運営しているが、ガールズ講座修了者が何人もボランティアで参加している。中にはチラシ作成に関わるなどコアメンバーとして活躍している人もおり、私たちのできないことで能力を発揮してもらえるのでとても助かっている。

・子ども向けの工作教室等を実施している。その際にボランティアのガールズ講座修了者がよく動いてくれ、大変助かっている。子どもたちは相手の事情など考慮することがないが、そこがよい。その時出会った相手として素直な関係を作っており、修了生もその場をシンプルに楽しみ、力を発揮している。

・シニア女性が中心の手仕事サロン（おしゃべりハンドメイドの会）の運営に関わっている。参加者がゆるやかにつながる場。ガールズ講座修了者が来ることもあるが、みなこの場になじみ、手仕事好きな仲間として世代を越え交流を楽しんでいる。

・外国につながる若者たちと関わっている。若者たちに話を聞いていると、それぞれ漠然とした不安を持っているのがわかり、支援のニーズも感じる。だが実際にそれらをつなげ、具体的な形にしていかなければそのまま終わってしまう。逆に、形にすれば予想以上に人が集まることも実感している。点で散らばるニーズを私たち支援者が行政なり地域なりと協力して線へとつなげていく。そのコーディネートこそがとても大切であり、私たち支援者の役割であると思っている。

・子育て支援の現場でも、10代で出産した母親に対し孤立を防ぐ支援を始めている。“ガールズ”と同世代。どんな支援をしたらよいのか？と考えていたが、始めてみてご本人たちの持つ力を実感している。その力を引き出すツールを支援側がどれだけ持てるかが重要。また、母親たちの中には学校を中退している人もおり、今後就労サポートも必要と感じている。

（事務局より）

・今の社会はバリバリ働き「活躍」する人、働けない人、などと二極化していると感じる。以前なら何らかの制約がある人も周りが包みこみ一緒に働いていたが、それが難しく、誰にとってもきつい社会。安心してゆったりと関われる場、対等な中で力を発見・発揮できる場を、地域や他機関とつながりつつ今後も作っていききたい。引き続きみなさまのご協力をお願いいたします。

【特記事項】 特になし。

【次回のご案内】 第3回 市民運営協議会

日時：2019年1月（日時未定）※9月以降に調整

会場：男女共同参画センター横浜南（会場未定）

議題：「地域や市民活動との連携について」